

平成 28 年 1 月 29 日 (金)

平成 27 年度の「きらり」活動報告

静岡市発達障害者支援センター「きらり」

平成 27 年度の「きらり」活動（4 月から 12 月）について報告します。

1 平成 27 年度相談支援実績 3 頁図表 1 参照

相談支援は実支援人数 498 人、延べ 598 件。発達支援は実支援人数 371 人、延べ 892 件。就労支援は実支援人数 77 人、延べ 109 件です。

年齢層は 7～12 歳が最も多く、次いで 4～6 歳の相談が多いです。

開設からは、相談支援は実支援人数 4742 人、延べ 6528 件。発達支援は実支援人数 3452 人、延べ 9839 件。就労支援は実支援人数 386 人、延べ 803 件になります。

2 園や学校への訪問支援（保育園、幼稚園、小中学校） 3 頁図表 2 参照

園や学校への訪問支援は a) 個別ケースの訪問支援と、b) 支援体制サポート強化事業で行っています。

a) 個別のケースにおける訪問支援は、公立こども園 10ヶ園で述べ 21 回、私立こども園 1ヶ園で述べ 3 回、私立幼稚園 8ヶ園で述べ 25 回、私立保育園 4ヶ園で述べ 8 回、公立小学校 21 校で述べ 74 回、公立中学校 2 校で述べ 7 回、において訪問支援をしました。

b) 支援体制サポート強化事業は今年度も地域ブロックごとの園・学校・地域のつながりを強化する取り組みをしています。具体的には公立こども園を 10 ブロックに分け、1ヶ園だけではなく周辺保育園からも参加していただき、支援を共有することができました。公立こども園 10ヶ園（10 ブロック）私立保育園 8ヶ園、私立幼稚園 4ヶ園、小学校 5 校、中学校 5 校、放課後等児童デイサービス 1ヶ所に訪問支援を実施しました。各箇所年間 4 回シリーズで訪問支援を実施しました。

3 ペアレントメンター事業 4 頁表 3 参照

今年度も研修会を実施しペアレントメンターを養成してきました。（平 22 年度から 26 年度で 28 名に修了書発行、平成 27 年度は新たに 10 名前後の修了書を発行予定）

今年度よりペアレントメンターの活躍の場所として、①親子教室（a 特別支援教育センター、b 静岡中央子育て支援センター c 清水石川コミュニティセンター）、②静岡医療福祉センターと静岡市発達障害者支援センター「きらり」の共催で月 1 回の金曜親講座、にて活動をしました。また毎年行っている③「きらり」主催研修会にて「先輩お母さんの体験談」を開催しました。その他公立こども園子育てサロン相談会、親同士の茶話会などの活動を行いました。

#### 4 成人期の支援

平成27年度の支援実績として、就労支援は実支援人数77人、延べ109件です。

相談者の方には、職業的挫折を理由に様々な葛藤や不安をかかえています。「きらり」では、まずはご本人と家族を支え、今ある資源の中で「発達障害」に関する理解を深め、現在ある制度や福祉サービスを用いて就労関係機関と連携し、事例を積み上げています。

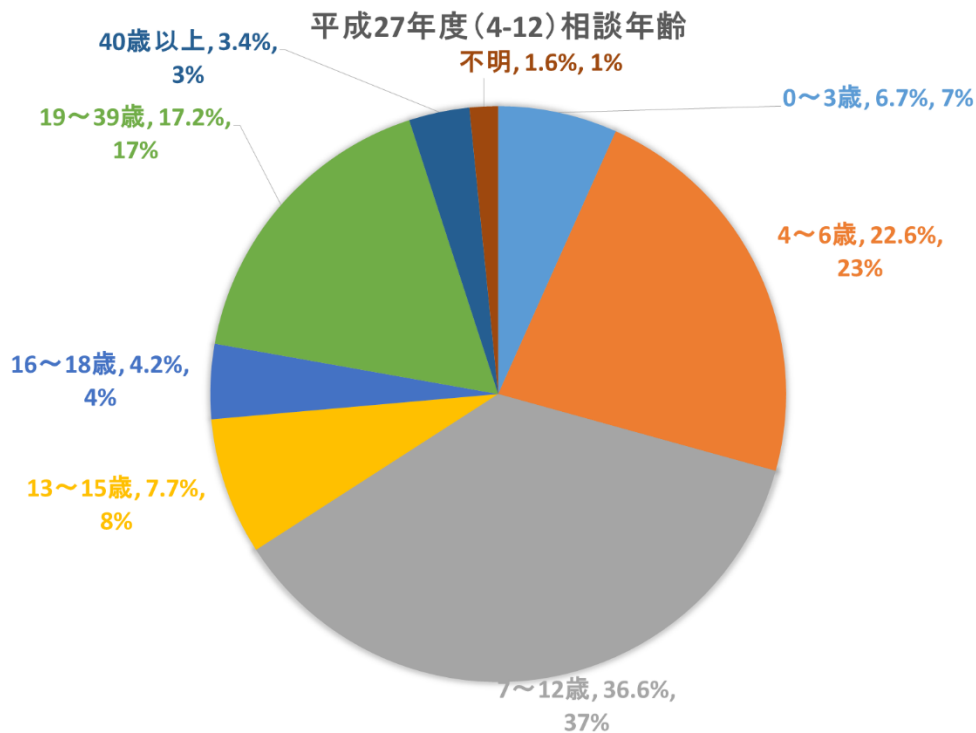
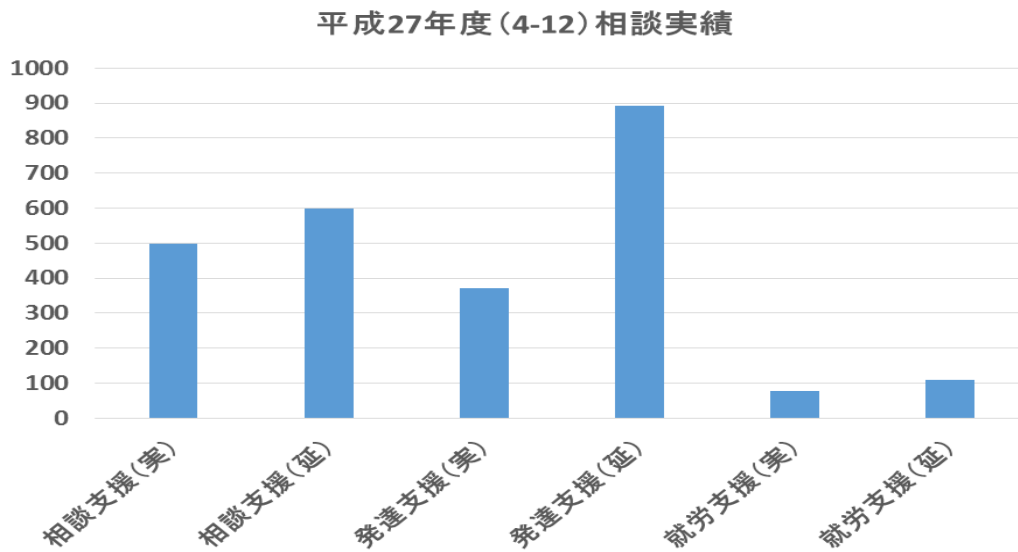
相談についてはニーズを整理し、以下のような資源等に繋いでいます。

- 1) 生活支援が必要な方には、地域活動支援センターと連携をしています。
- 2) ひきこもりの方には、ひきこもり地域支援センターと連携をしています。
- 3) 医療機関での相談を希望する方（人との違いについて、ひきこもりやうつなど）には、医療機関と連携をしています。
- 4) 仕事に対する相談の方には、一般雇用か障害者雇用を希望するのかを聞き、ハローワークや障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター、就労移行支援事業所等と連携をしています。
- 5) 福祉サービスを利用したいと希望されている方には、精神手帳や療育手帳、年金や生活保護などについて相談別に関係機関と連携をしています。

#### 発達障害者支援センターの支援における関係施設・関係機関等

- 保健所・精神科クリニック・デイケア
- 公共職業安定所
- 障害者職業センター
- 地域リハビリテーション推進センター
- 障害者就業・生活支援センター
- 就労移行支援事業所
- 就労継続支援 A 型・B 型
- 地域若者サポートステーション
- 福祉事務所・障害者福祉課
- 基幹相談・相談支援事業所
- 計画相談支援・居宅支援・生活介護
- 社協暮らし・しごと相談支援センター
- 地域活動支援センター
- ひきこもり地域支援センター
- こころの健康センター
- 親の会団体・関係 NPO

1 平成27年度相談支援実績（4月-12月）



2 園や学校への訪問支援（保育園、幼稚園、小中学校）実績（4月-12月）

	a)個別ケースの訪問支援		b)支援体制サポート強化事業	
	園・校数	延べ回数	園・校数	延べ回数
公立こども園	10	21	10 (ブロック)	28
私立こども園	1	3	0	0
私立幼稚園	8	25	4	11
私立保育園	4	8	8	26
公立小学校	21	74	5	19
公立中学校	2	7	5	15

### 3 パARENTメンター事業

#### ① 親子教室

a 特別支援教育センターでの「おやこ☆あそびくらぶ」(旧「言葉と遊びの親子教室」 親子音楽遊びと親講座)

実施回数：親子教室 8回、11/6は親講座 1回

メンター活動回数：延べ 37回 参加親子数：延べ 56組

	7/3	7/24	7/31	8/21	9/4	9/25	10/9	10/23	11/6
登録者数	11	14	14	13	13	13	13	13	13
参加者数	7	9	8	10	4	2	6	7	3
参加メンター人数	5	4	5	2	3	5	4	4	5

b 静岡中央子育て支援センターでの「ちゅうおう☆おやこあそびくらぶ」(旧「ことばと育ちの親子教室」(親子音楽遊びと親講座)

実施回数：親子教室 7回、親講座 1回(3/2)、メンター中心のおしゃべり会(3/16)を予定。

(～1月) メンター活動回数：延べ 22回 地域サポーター活動回数：延べ 5回

参加親子数：延べ 62組

参加者：①2～3歳児 ②1～2歳児 の2グループで行っている。

	11/18	12/2	12/16	1/13	1/27	2/3	2/17	3/2	3/16
登録者数	18	18	18	18	18				
参加者数	15	14	12	9	12				
参加メンター人数	6	4	4	4	4				
参加サポーター数	1	1	1	1	1				

c 清水石川コミュニティセンターでの「しみず☆おやこあそびくらぶ」(親子遊びと親講座)

(～1月) メンター活動回数：5回 参加親子数：延べ 31組

実施回数：親子教室 6回、親講座 2回(9/29、3/22)

	9/29	10/27	11/24	12/22	1/12	2/9	3/8	3/22
登録者数	11	11	11	11	11			
参加者数	5	6	7	5	8			

② ②静岡医療福祉センターと静岡市発達障害者支援センター「きらり」の共催で月1回の金曜親講座は毎回60名から90名の参加者があり、メンターは2～3名の参加があります。

## 静岡市発達障害者支援体制整備検討委員会に向けて（今後の課題）

### 静岡市発達障害者支援センター「きらり」

#### 乳幼児期の課題

- ・ 早期発見・早期療育の必要性が高まっている中、静岡市でも1歳6ヶ月児健康診査や発達支援健診、総合発達相談などで早期支援がすすんでいます。
- ・ 早期に発見をされ療育および**療育前の支援（\*1）**が必要とされるこどもへの支援場所がとても少ないのが現状です。また、身近で軽度の発達の気になる子への支援（**パステルゾーンの子への支援（\*2）**）について相談ができる場所も限られています。身近な認定こども園に併設された子育て支援センターやあそび・子育ておしゃべりサロンなどでもパステルゾーンの子への相談ができるようなシステムづくりが必要と考えます。

#### **\*1 療育前の支援－診断される前、療育機関につながる前または待機児の支援**

#### **\*2 パステルゾーンの子への支援－まだ診断をされていない、ちょっと気になる子の支援**

#### 成人期の課題

- ・ 発達障害者支援センターへの成人期の相談年齢は全国平均で50%を超えています。静岡市発達障害者支援センターでの成人期の相談は15%前後ですが、年々増加傾向にあります。
- ・ 静岡市内には成人の発達障害支援を専門とする医療・福祉機関が少なく、重層的に支援をするネットワーク作りが課題です。今後医療機関も含め成人期支援への枠組みの構築が急務と思われます。
- ・ 既存の三障害の福祉機関や事業所にケースを通して、ケース支援会議を開いたり、事業所の支援スタッフへの研修会を積み上げたいと考えています。
- ・ 医療機関へは、ケースを通してつなぐ中でケース会議や情報共有を行っています。
- ・ 成人期支援に関する様々な協議や会議に出席し、発達障害者支援の理解と地域連携が進むように検討会を積み重ねています。
- ・ 自閉症協会、育成会、きんもくせいの会などの親の会団体と協力して当事者グループ活動を応援していきたいと考えています。